

市議会だより



山形県指定 天然記念物

長町裏のエゾエノキ (S31.5.11指定)

米沢市街地の北部、堀立川右岸の岸辺に立ち、古くから熊野大権現の御神木として大切にされてきました。幹まわりが約5m、高さが約15mにもおよび、四方へ伸びた枝振りも見事でしたが、平成13年の大雪で東北側の1本が折れ、幹の一部も損傷しました。樹齢は300年を超えるものと思われます。また、指定の名称はエゾエノキとなっていますが、近年の調査によってエノキであることが判明しています。

平成17年9月定例会

	ページ
◆ 9月定例会の総括 ……………	2
◆ 一般質問 ……………	3
◆ 決算特別委員会の審査から ……………	8
◆ 常任委員会の審査から ……………	10
◆ 予算特別委員会の審査から ……………	11
◆ スポット・あとがき ……………	12

決算案件16件をすべて認定



決算特別委員会



帳票審査

平成17年9月定例会は、6日から28日までの23日間の会期で開きました。

初日の本会議では、まず承認案件1件を了承し、教育委員会委員の任命についての議案1件に同意した後、議案27件を各委員会にそれぞれ付託しました。

8日と9日には、9名の議員による一般質問が行われました。

13日から16日までの4日間を、決算特別委員会に当て、一般会計・12特別会計及び3企業会計における平成16年度の各決算について審査を行いました。

20日には総務・民生常任委員会を、また、21日には産業建設・文教常任委員会をそれぞれ開き、議案について審査を行うとともに所管調査を行いました。

22日には、予算特別委員会を開き、補正予算3件について、審査を行いました。

最終日の28日の本会議では、各委員長報告が行われたほか、決算案件16件を認定するとともに、予算案件などの議案11件をすべて原案のとおり可決しました。

最後に、道路特定財源制度の堅持及び道路整備予算の確保に関する意見書と議員派遣について可決し、9月定例会を閉会しました。

一般質問

9月定例会では9名の議員が質問を行いました。ここでは、1時間の持ち時間から主なものを取り上げております。

詳しくは12月に会議録ができますので、情報公開コーナー（4階）、市立図書館、米沢市議会ホームページをご覧ください。

「市政のここが聞きたい」

行財政改革により議員定数が36名から段階的に削減され現在は28名となっている。一方、職員数にはあまり変化が見られない

米沢北インターチェンジ周辺の今後の開発構想については、次期総合計画の策定作業の中で多様な角度から検討するとの答弁が平成16年9月の一般質問の際にあった。平成18年度からのまちづくり総合計画の中では、どのように考えているのか。

〔企画調整部長〕 地域振興整備公団が廃止され、都市再生機構に再編されたことに伴い、新しい事業が見込めないことや計画当時と比較して、その必要性や社会的、経済的状況が大きく変化しています。本市の置かれてある財政状況が極めて厳しく、まちづくりの基本方針としてコンパクトシティー**〔※〕**を目指していることから、当該地域の具体的開発については現在白紙の状態です。

※市街地の過度の拡大を抑制し、中心部に人が住みやすくするような整備やまちづくり

い。現在までの職員数はどう推移してきたのか。また、平成18年度の採用予定者数は。

〔市長〕 医療職や消防職以外は大幅に減少しています。昭和50年から平成17年までの30年間で比較すると総数では30名の減少ですが、病院に勤務する職員が143名、消防職員が8名増加している一方で、その他の職員は181名減少しています。

「最小の経費で最大の効果」という原点に立つとともに、市民サービスの向上を念頭におきながら、抜本的な事務事業の整理、組織の合理化、民間委託の推進、職員の適正配置等に努め職員定数の抑制に取り組みます。

〔総務部長〕 効率的な行政運営をするために職員数の見直しを図り、平成18年度は、医療職や消防職以外の採用は考えていません。

私は、平成17年4月から11月までの予定で毎日ラジオ体操を愛宕地区で実施している。雨天時は愛宕小の体育館を借用し、約80名が一日も休まず参加している。たった10分間の体操だが、前後のウォーキングも含めると相当な運動量となる。参加者にアンケートを実施した結果、体調がよくなった、体が軽くなった、規則正しい生活になったと健康づくりに大変役立っている。

米沢ビジネスネットワークオフィスの提唱し、本市も関係している「なせばなる・米沢方式健康サービスコンソーシアム**〔※〕**」に対して国は助成金の支出を決めた。超高齢化時代を間近に控え、健康な長寿社会を目指すためにも、ラジオ体操の活動支援はこの事業に合致するのではないかと考えます。

〔市長〕 「なせばなる・米沢方式健康サービスコンソーシアム」が、国の支援事業として採択候補に決定しました。本市もこの

構成団体として参画し事業を推進していますが、実施計画の中に高齢者が積極的に戸外に出て引きこもりをなくす「いきいき健康クラブ」があり、ラジオ体操等の健康イベントはこの事業に合致すると考えられます。

〔教育次長〕 全天候型グラウンドの早期実現については、市民の方々の長年の要望・悲願である事は、十分承知しています。今後財政面などを考慮しながら努力していきたいと考えます。

※コンソーシアム共同事業体

置賜地区に全天候型グラウンドがないため、陸上競技大会が山形市で開催されるという異常事態となっている。本市の陸上競技場は雨天中止を余儀なくされ、晴天であってもタイムロスが多く、子供たちのより速く、より強くなる夢を打ち砕く結果となっている。現在の市営陸上競技場を全天候型グラウンドに早期改修できないか。

米沢北インター周辺の今後の開発構想と行財政改革は



佐藤 正夫 議員

健康増進のためのラジオ体操の活動支援について



小島 卓二 議員

少子高齢化対策を



佐藤 忠次 議員

全国的な問題に取り上げられている少子高齢化について本市独自の対策は、第三子を出産されたご夫婦に養育費として100万円を支給できないか。

〔健康福祉部長〕 平成17年3月

に今後10年間の本市独自の次世代育成支援計画を策定しました。「人・心・夢をつなげ・はぐくみのさと」を基本理念に34の新規事業を含め、107の事業メニューからなる体系的で総合的な支援計画をスタートさせました。今後5年間を第一期として、次期総合計画と調整を図りながら、可能なものから実施してまいります。安心して子供を産み育てることができると環境を指し、少子化の進行に歯止めがかかるような施策を展開していきたいと考えています。

次に第三子に対して養育費100万円を支給してはどうかとの質問ですが、本市でも少子化対策をどのような施策で展開するか検討をかさねてきた経過が

あります。予測より早く出生率が低下している現状を踏まえると、出産祝い金の支給は、子育て支援の一つの選択肢でもありと考えられますが、第三子に限定した高額支援対策で少子化の進行を抑制できるかどうかは、まだ見えない部分でもあります。

本市の就学前の児童に対する第三子以上の比率は、平成15年の次世代育成支援行動計画のニーズ調査の結果では約16・5%で人数にすると130人前後と推測され、財政的負担はかなり厳しいものと考えられます。また、少子化対策の包括課題として、第一子、第二子の出生率も上げていく必要があります。安心して子どもを産み、子育てができる環境を整えることが本市の最重要施策と位置づけ当面の対策及び中・長期にわたる対応策を急ぎたいと考えています。



中心市街地の再生と活性化は



佐藤 充 議員

平成17年3月議会以降、中心市街地の再生と活性化についての提案がないがどう考えているのか。中央商店街は身の丈に合った店舗造りをし、公的機関として図書館、中部コミュニティセンター、市民ギャラリーを建設してはどうか。

〔市長〕 中心市街地の再生と活性化を促す前段として、具体的な交流の場づくり、仕組みづくりをしなければならぬと考えています。

〔建設部長〕 平成14年2月に米沢市中心市街地活性化基本計画を策定していますので、中身を再度精査して、議員が述べられたことを視野に入れ、早い時期に進めたいと考えています。

本市の観光特性、実態を踏まえた現実的、実際のな交流策、観光産業振興策をどう考えているか。

〔市長〕 体験型の観光都市づくりに着手します。会津地域のよ

うな近隣で観光の魅力を十分に持った観光地との連携・広域ネットワークに取り組みます。また、上杉の城下町だけでなくそれに加えて様々な歴史的魅力を持つ町を目指し、具体的にさまざまなことを行います。

幼稚園は文部科学省、保育所は厚生労働省の所管となっており、二元化行政を強いられいるが、現場においては幼稚園では定数割れがどんどん進み、認可保育所では待機児童数が増えている。両者の機能を充実、発展させ、むだな経費を抑制する幼児教育行政の効率化を図るために、本市では幼保一元化する考えはあるのか。

〔健康福祉部長〕 本市における幼保一元化は現時点では難しいと認識しています。重要で必要性のある問題と考えており、一元化実施の可能性を積極的に検討したいと考えています。



▼7月▲

- 4日 西根町議会から視察
- 5日 議会倫理推進委員会
- 岸和田市から視察
- 6日 生駒市から視察
- 8日 置賜三市五町議会連絡協議会総会
- 11日 各派代表者会
- 福島市米沢市相馬市議会連絡協議会幹事会

- 12日 新居浜市議会から視察
- 14日 坂出市議会から視察
- 20日 議会だより編集委員会
- 22日 山形県市議会議長会職員研修会

- 25日 総務常任委員会
- 民生常任委員会
- 産業建設常任委員会
- 文教常任委員会

- 26日 文政協議会
- 27日 市政協議会
- 29日 議会倫理推進委員会
- 議会運営委員会

▼8月▲

- 1日～4日 産業建設常任委員会管外行政視察(新宮市、松阪市、川越市)
- 5日 各派代表者会
- 市政協議会
- 9日 議会運営委員会

米沢牛の将来政策は



吉田 芳一 議員

平成14年度にBSE対策として県から補助を受け、と畜場設備の改良工事を行っているが、十分か。

米沢牛のブランドをより高め、品質向上に努力している畜産農家に対する行政支援体制は。

平成16年5月に置賜畜産公社の社長が「文献及び資料に基づく米沢牛の系譜」を編纂された。この中でたぐさんのユニークな歴史が紹介されている。資料展示室などを設けて、観光の一役を担わせてはどうか。

〔市長〕米沢牛は観光産業にも大いに貢献しています。生産規模拡大と地域内一貫生産体制の確立を図るため、地域環境の保全に配慮した畜産施設の整備に對して支援を考えています。

〔産業部長〕BSE対策事業として食肉センター焼却炉の改修、冷蔵保管室増築工事を行いました。このような対応で十分だと考えております。

支援体制としては、飼育技術

研修会への助成、若手後継者育成のためのヘルパー事業、優良雌牛の受精卵移植技術を用いた生産体制の確立、市有牛貸付事業、堆肥散布の円滑化を図るための助成等を行っています。

資料館建設は今後の研究課題とし、イベント開催などに併せて米沢牛の歴史を展示することを関係団体とともに研究・検討いたします。

少子化は予測より2年も前倒しで進み、平均寿命が延びて高齢化に拍車がかかり、核家族化も進んでいる。今後、高齢者の単身世帯が増加することは、自明の理である。しかし、現在の高齢単身世帯が入居可能な市営住宅は、不足しているが今後の対応は。

〔建設部長〕高齢単身世帯向け住宅は、市・県合わせて148戸です。今後高齢単身世帯も入居できるように住居を確保し、世代バランスを考慮していきます。

「行財政改革」計画は全職員が参加して作るべきではないか



高橋 壽 議員

「市民と行政の協働のまちづくり」を進めるには、市職員総参加で「行財政改革」計画をつくるべきと考えるが、そのようになっているのか。

〔市長〕各職場の職員が業務の検討を行いました。また、全職員を対象に「行財政改革」の説明会を開催し、厳しい財政状況を共通認識できるようにしました。

さらには、「行財政改革」を職員自らの課題ととらえてもらうために、全職員に提言、意見を求めたところ、48%の職員から提出されています。

今後、市民委員会からの提言を踏まえて「行財政改革大綱」と実施計画を策定する考えです。

平成17年3月に「学校給食検討委員会」から報告書が提出されて以降、教育委員会では、学校給食についてどのような点を検討しているのか。

〔教育長〕小学校給食について

は、調理方式を検討しています。中学校給食については、平成18年度「中学校給食についての検討委員会」を立ち上げたいと考えています。その際、「学校給食の教育的な意義」を前提に、学校関係者や保護者、市民の「食育」や給食についての意識、生徒の食の実態などを把握しながら、中学校の完全給食の可能性について検討し、教育委員会としての考え方を示していきます。



中学校の牛乳給食

28日	26日	22日	21日	20日	16日	15日	14日	13日	9日	8日	6日	1日	▼9月▲	30日	29日	25日	24日	23日	19日	12日	
各派代表者会	本会議（最終日）	議会図書室運営委員会	議会だより編集委員会	本会議（最終日）	各派代表者会	産業建設常任委員会	文教常任委員会	予算特別委員会	議会運営委員会	議会図書室運営委員会	議会だより編集委員会	本会議（最終日）	各派代表者会								

高齢者が安心して安全に

暮らせるよびにするには



白根澤 澄子 議員

平成18年度開始の「米沢まちづくり総合計画」では、6項目の基本目標が掲げられ、そのひとつに「誰もが安心して安全に暮らせるまちづくり」がある。その中で高齢者が安心して安全に暮らせるようにしていくには、介護保険の改善や住宅の整備が必要ではないか。

介護保険法の改正により、平成17年10月から介護施設入所者の自己負担が増える。また、施設建設基準の変更により施設の建設が抑制され、今後さらに施設入所が難しくなる。在宅で十分な介護を受けられるよう、在宅サービス利用料を半額にするなど軽減措置を拡大できないか。高齢者が健康で安全に暮らしていくには住宅の整備が欠かせない。介護を予防するバリアフリーや耐震化のための住宅リフォーム助成制度を実施してはどうか。

〔健康福祉部長〕在宅サービスの充実是不可欠であると考えて



いますが、当面は本市独自で実施している所得の低い方の利用者負担額の一部助成を継続していきたいと考えております。

高齢者世帯に対する住宅改造助成については、財政的なものや費用対効果との関連など、今後の研究課題とさせていただきます。

市民派マニフェストの

実行と検証について



高橋 嘉門 議員

合併アンケートにより「積極的に合併に取り組まない」とする市長判断に対し市民の反響は、また、「自主自立のまちづくり」の具体的な方策は何か。

〔市長〕「出前市長室」などで質問があり、「当分の間は合併しない」判断は支持されています。また、自主自立については、一

つは行財政改革を徹底的に進めていくということです。二つ目は経済問題であり、長期的には、八幡原工業団地のような経済の柱をほかにもたてていくということを図っていきます。短期的には、本市の魅力を生かし、交流人口を拡大していくまちづくりを目指す考えです。

オフィス・アルカディアへの企業誘致の状況は。

〔市長〕平成17年7月からトップセールスをスタートし、24の企業や機関などを訪問しました。進出までには至っていません。オフィス・アルカディアを

取り巻く厳しい状況について更に認識を深めました。しかし、継続的な企業訪問活動を行う中で成果がみられるものと期待し、努力してまいります。

平和通り商店街再開発についての市長の考えは。

〔市長〕行政が中心市街地に対してすべきことは、交流の場づくりや、交流の仕掛けづくりであり、どのようにしたら人々が交流するのかにについて、ご意見をお聞きし進めてまいります。

「市民派マニフェスト」の総括と達成度は。また、市民への状況報告はどうするのか。

〔市長〕1年以内に取り組み項目は22あり、実施済み、実施中、実施に向け検討中のものと、おむね順調に進んでいると考えます。市民のみなさんには、適当な時期に中間報告をしたいと考えております。

市議会のホームページ

会議録、市議会の概要、市議会だよりなどを紹介しています。アドレスは次のとおりですのでぜひご覧ください。

▼アドレス

<http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/gikai/gikaihome.html>

くわしくは議会事務局へお問い合わせください。

Tel22-5111 (5623・5624)

8月臨時会

8月臨時会を8月12日に開会し、次の議案を審議し、それぞれ原案のとおり議決しました。

- 専決処分事件の承認を求めるについて
- 米沢市食肉センター汚水処理施設建設工事請負契約の締結について

上郷小学校と上郷公民館は



山村 明 議員

合築できないか

上郷小学校と上郷公民館はどちらも老朽化している。学校は日中の利用に対して、公民館・コミュニティセンターは夜間や土・日・祝日の利用が主であり、合築すれば駐車場やトイレ等多くの部分を共有できる。現在の小学校の敷地に隣接して上郷中学校跡地、県立米沢商業高等学校上郷分校跡地があり、また近くに上郷運動広場がある。絶好の条件がそろっているこの土地に複合施設を建設してはどうか。合築する考えは。

〔教育次長〕現在は、上郷小学校の建設場所を検討しています。複合化は学校の安全対策や児童の学習と生活に支障がない事が最重要です。全国的に複合化施設もあると聞いていますが、上郷小学校はまず校舎づくりを優先する考えで、建設場所の決定に全力を傾注し校舎の内容はその後になります。

一般的に普及しているスポー

ツで県大会を本市で開催できない種目はどれくらいあるのか。また、県大会ができない種目の施設は中核都市として本市が整備すべきではないか。

テニスはオムニコート(※)が12面だと硬式と軟式が共用で県大会ができる。サッカーは芝生のグラウンドが本市にないため大会を招致しにくくなっている。早急に芝生グラウンドの整備ができないか。また、フットサルの大会用に市営体育館にカーテン式のネットを整備できないか。

〔教育次長〕県大会ができない主な種目は、陸上・テニス・サッカー・フットサル・ソフトボールです。本市の総合計画の中で順次整備していく方針ですが、県や置賜の広域視点からの手法も検討すべきと考えています。フットサルのネットは調査し、可能であれば対応します。

※人工芝に砂を詰めた構造のコート

9月定例会で 次のことが 決まりました。

- 専決処分事件の承認を求めるについて
- 米沢市教育委員会委員の任命につき、その同意を求めるについて
- 平成16年度米沢市一般会計歳入歳出決算
- 平成16年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算
- 平成16年度米沢市国民健康保険施設勘定特別会計歳入歳出決算
- 平成16年度米沢市老人保健医療費特別会計歳入歳出決算
- 平成16年度米沢市介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算
- 平成16年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計歳入歳出決算
- 平成16年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計歳入歳出決算
- 平成16年度米沢市下水道事業費特別会計歳入歳出決算
- 平成16年度米沢市農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算
- 平成16年度米沢市物品調達費特別会計歳入歳出決算
- 平成16年度米沢市南原財産区費特別会計歳入歳出決算
- 平成16年度米沢市三沢東部財産区費特別会計歳入歳出決算
- 平成16年度米沢市大字小野川財産区費特別会計歳入歳出決算
- 平成16年度米沢市水道事業会計決算
- 平成16年度米沢市立病院事業会計決算
- 平成16年度米沢市営駐車場事業会計決算
- 山形県自治会館管理組合規約の一部変更について
- 山形県消防補償等組合規約の一部変更について
- 米沢市長期継続契約とする契約を定める条例の設定について
- 米沢市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の設定について
- 市有財産(消防ポンプ自動車)の取得について
- 米沢市青果物地方卸売市場条例の一部改正について
- 市道路線の廃止について
- 市道路線の認定について
- 平成17年度米沢市一般会計補正予算(第3号)
- 平成17年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)
- 平成17年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)

以上の議案は、すべて、承認、同意、認定、原案どおり議決しました。



決算特別委員会の審査から

決算特別委員会は、9月13日から16日の4日間にわたり開催し、一般会計・12特別会計・3企業会計における平成16年度の決算を審査しました。その結果、いずれも認定すべきものと決まりました。決算特別委員会の概要と質疑の主なものは、次のとおりです。

〔委員〕平成16年度の歳入について、市税等収入未済額が、一般会計、特別会計の合計で18億3544万3千円にのぼっているが、その財源があれば多くの事業が実施可能で、税等の不公平感をなくすためにも、積極的な解消策が必要ではないか。

〔総務部長〕税、保険料、使用料等の受益者負担の原則、市民の側の公平感の観点からも、その対応は重要と考えており、厳しい経済状況の中にあっても、税の徴収率を向上させるなど、対策をとってきており、今後も関係部署の連絡会議を通して時代に合った対策を講じてまいります。

〔委員〕保育所に対する要望等の内容と老朽化の対応方針は。

〔健康福祉部長〕保育所に対する需要は依然として高い水準にあり、一方で病後児保育を求め声も高まっています。また、改築予定時期を過ぎている東部ひかり保育園の整備については、制度が変更になり、地方自治体

による整備では、国、県の補助が一般財源化され、縮小される見通しであることから、民設民営での改築を検討したいと考えています。



民設民営が検討されている東部ひかり保育園

度の1万2026トンと約2倍に増えており、特に急激に増加している事業系の一般廃棄物について、何らかの減量対策を立てなければならぬと考えています。

〔委員〕米沢オフィス・アルカディアへの企業誘致の方向性は。

〔商工観光課長〕事業主体の中小企業基盤整備機構からは、一定の期限のなかで、事業を推進していく考え方が示されてきており、早期に、核となる企業の誘致をして立地をアピールしたいと考えており、そのために、幅広い業種の誘致や、優遇策の検討など、新たな観点での対応が要求されていると認識しています。

〔委員〕米沢駅から伝国の杜までのシンボルロードの街路事業や、南部地区面的整備事業での景観やまちなみ形成の考え方は。

〔都市計画課長〕街路事業や面的整備事業に際しては、初めにまちづくり委員会を立ち上げて、住民の方々にどういった街を作るのかを考えていただいで事業を進めていく考えです。南部地区面的整備事業にあつては、関連する県事業の万世橋成島線の街路事業のまちづくり委員会との2つの委員会の合同で、統一の取れたまちなみの考え方を作っていただいで、事業を推進します。

〔委員〕学校給食の牛乳が今年度から紙パックになった経緯は。

〔教育次長〕納入していた業者から県教育委員会に対してビンの洗浄ラインの維持が困難で紙パックに切り替えたいとの申し入れがあつて切り替えたものであり、各学校では、子供たちが紙パックを洗浄、乾燥させ、それを業者が回収するリサイクルを行っています。

〔委員〕平成16年度末の下水道の普及状況は。

〔下水道課長〕処理人口普及率が、51・6パーセント、水洗化可能人口が4万7236人、うち実際に接続している率が73・2パーセントで、その人数は、3万4566人です。

〔委員〕石綿セメント管の鉄管への更新状況は。

〔施設課長〕平成7年度末で延長が約44キロメートルだったものが、平成16年度末には延長約2キロメートル弱となり、今後は、下水道、道路等の事業の際に入れ替えを行い、あと3年ほどで全て更新できる見込みです。

〔委員〕網木川ダムの供用以後は、大方が県企業局からの購入水になることから、年間11万立方メートルに上る無収水量の解消に力を入れるべきではないか。

〔水道部長〕漏水の原因の大きな部分を占める、老朽化した鉛管等の更新に積極的に努力いたします。

米沢市立病院

建物の更新計画は

〔委員〕建物の更新計画は。

〔市立病院事務局長〕先ごろま

とまった「米沢市立病院中長期計画答申書」では、外来棟は、建築後40年経過し、施設全体が老朽化してきていること、また、新しい棟は建築後20年しか経過

施設整備に備えた体制を整えるべきものとしております。

〔委員〕市営駐車場の今後の活用の方向性は。

〔環境生活課長〕

昭和48年に供用開始した施設の税法上の耐用年数は35年で、あと3年残っているが、平成3年度に耐震補強を行っており、近く再度耐力度調査を行って、今後何年使用でき、改修にいくらかかるのかを調べた上で、検討いたします。

ものの、病室等の仕様が旧来の基準で整備された建物であり、最新の療養環境に対応した設備設置が困難であることなどから、大規模な増改築または、新病院建設が必要と想定され、そのためには計画的に内部留保資金を確保するなど、



米沢市立病院

管外行政視察報告

産業建設

常任委員会

産業建設常任委員会では、8月1日から8月4日までの4日間にかけて観光施策・林業行政・景観形成事業をテーマとして和歌山県新宮市、三重県松阪市、埼玉県越市を視察してきました。新宮市では、歴史・文化・歴史遺産、自然を活用した観光都市の在り方について視察してまいりました。

松阪市では、林業の厳しい現状と間伐等の森林整備の必要性についてお話を伺いました。

また、森林組合の加工場の見学を行い、間伐材を活用した小径木加工製品である河川護岸のためのウッドブロック、工事表示板、工事立て看板、工事バリケード製品を見学しました。木製製品には「鉄製とは違うあつ

米沢市のより良いまちづくりのために、各委員会の所管する事項について行政視察を行いました。



松阪飯南森林組合で間伐材の加工場を見学する委員

たかみのある感触」を感じてまいりました。

川越市では、歴史と文化の町として近年、注目を浴びている観光都市で、市内を走る民間バスも景観に配慮したレトロ風に改造するなど企業も一体となっ

て景観形成事業を推進してまいりました。

また、地元のお祭りである川の姿勢などに積極的に参加する市民の姿などをお伺いし、市民参画のまちづくりについてその取り組みを視察してまいりました。

常任委員会の審査から

9月20・21日に開催した常任委員会から
質疑の主なものをお知らせします。

総務

▼米沢市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の設定について

本案は、地方公務員法の一部改正により、職員の任用、給与、勤務条件等の人事行政の運営等の状況の公表等に関し、必要な事項を定めようとするものです。
〔委員〕この条例を設定した背景は。

〔総務課長〕地方公共団体の人事行政は、複雑、かつ多様で、わかりにくいことから、これまでも、職員給与や職員数については、広報等を利用して公表してきたものの、人事行政の運営状況の透明性をより高めるため、これら以外にも職員の任用や勤務条件、分限等の人事行政運営

全般の状況を公表することにより、住民がチェックすることのできる体制を作るとともに人事行政の適切な運営を確保しようとするのが、この条例設定の背景です。

▼市有財産(消防ポンプ自動車)の取得について

本案は、現在、西部出張所に配備されている消防ポンプ自動車一台が老朽化したことから、これを更新配備することにより、災害に適切に対処し、市民生活の安全を確保しようとするものです。

〔委員〕消防ポンプ自動車等の耐用年数は。

〔消防課長〕耐用年数の基準については、消防本部の内規として定めており、救急車等については、5年から7年、消防ポンプ自動車については15年の目安をもうけています。

21年間使用した消防ポンプ車



産業建設

▼米沢市青果物地方卸売市場条例の一部改正について

本案は、卸売市場法の一部改正を受けて、本市の米沢市青果物地方卸売市場条例に、卸売市場における物品の品質管理の高度化のための措置を定める等の所要の改正を行うほか、規定の整備を図ろうとするものであります。

〔委員〕品質管理の高度化を図るその実施時期は。

〔農林課長〕本条例改正案の議決を受け、米沢市青果物地方卸売市場条例施行規則を改正した後、平成17年度内の実施に向けて検討しているものです。

なお、施行規則の内容は、卸売業者である米沢青果株式会社 が品質管理及び責任者等を定め、市長に届け出ることなどを規定いたします。

〔委員〕現在の市場における地場産と県外産の割合は。

〔農林課長〕平成16年度の統計では、野菜部門における地場産の割合は、23・3%であり、数量にして2388トンです。

▼市道路線の廃止について、及び市道路線の認定について

両案は、開発行為に伴い4路線を廃止し、これら4路線のうち3路線を再認定するほか、同じく開発行為に伴い3路線を新規認定するとともに、市道認定申請のあった道路で、生活道路として必要な7路線を新規認定しようとするものです。

〔委員〕市道の認定基準は。

〔土木課長〕幅員6メートル以上であること、道路敷地の境界が明確であること、沿線に3戸以上の戸数があること、用地の名義変更が可能であることなどが認定基準の要件として挙げられます。



米沢市青果物地方卸売市場

予算特別委員会

9月22日に開かれた予算特別委員会では、一般会計補正予算をはじめ3議案を審査しました。

その中から質疑の主なものをお知らせします。

ガイドラインの設定は

〔委員〕米沢市オフィス・アルカディア団地へ導入する業種についてはこれまでどおり研究開発機能を有するもののほかに、検討委員会において一定程度のサービスの機能を有するものについても導入することとしたが、企業誘致活動を円滑に進めるには導入すべき業種についてのガ

イドラインを設定しておくべきではないか。

〔オフィス・アルカディア推進主幹〕サービスの機能を有するものについては、ある一定の範囲ということになっていますが、色々な業種がありますので今後十分に検討したうえで誘致活動を進めていきたいと考えています。

〔委員〕財政が逼迫している中、市のホームページ、広報よねざわ及び市民バスなどへの有料広告掲載により歳入の増加を図るべきと思うがどうか。

〔総合政策課長〕有料広告は広告掲載料による自主財源の確保のみならず、地元業者の育成、振興等の観点からも有効であると考えています。今後、市の公共性、中立性を損なわないための広告掲載の基準をつくり、平成18年度からの実施に向けて検討します。

〔委員〕現在、指定管理者制度を導入するなど行財政改革を進めているが、行財政改革による財政への影響を数値で示し、その実現に向かって進めるべきと考えるがどうか。

〔総務部長〕今後実施する

行財政改革の中では、可能な限り目標の数値化を行い公表してまいります。

〔委員〕旧第6中学校は、広幡村、塩井村、六郷村の組合立広井郷中学校として昭和26年に開校した歴史を有している。敷地

本市の景観形成は

どのように進めるのか

〔委員〕町なかの景観形成について伺いたい。

米沢駅から住ノ江橋まではどのような景観地区にしようとするのか。また、住ノ江橋から平和通りまでの景観形成はどのようにして進めるのか。

〔都市計画課長〕米沢駅から住ノ江橋までの区間は地元の方と協議の結果、大正ロマン風の景観を形成していくことに決定しています。

また、住ノ江橋から平和通りまでの区間については、街路事業の実施の方向性が見えた段階で、地元の方と協議を重ねて決定したいと考えています。

面積が約1万5600平方メートルあるが今後、どのように活用するか考え方を伺いたい。

〔教育次長〕どのように活用することが一番望ましいか、今後、全庁的な視点から検討していかなければならないと思います。



企業誘致が待たれる
オフィス・アルカディア



米沢駅周辺地区整備後のイメージ図

米沢地区農業関係団体の農政懇談会



9月20日米沢市農林業振興議員連盟は農政懇談会を開催しました。懇談会では、本市の地域営農ビジョンの確立や松くい虫の実態と対策についての説明を受けた後、関係各団体（米沢市農業委員会、山形おきたま農業協同組合、置賜農業共済組合）との意見交換を行い、本市の農業のあり方について議論がなされました。

県内13市 事務局職員 研修会

7月22日、伝国の社会議室におきまして、第40回山形県市議会議長会事務局職員研修会を開催しました。

研修会では、各市の検討課題の協議及び情報交換を行いました。また、「小さな温泉地の大きな夢」と題して観光カリスマの佐藤雄二氏を講師にお招きし講演をしていただきました。



意見書

9月定例会最終日に議員提出の意見書1件を原案どおり議決し、直ちに関係機関へ送付しました。

- ◆道路特定財源制度の堅持及び道路整備予算の確保に関する意見書
(内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣あて)

あとがき

1時間に及ぶ議員の質問や、市長の答弁を限られた字数の中で、いかに分かりやすくまとめるか、議会だよりに掲載されたのでは市民の皆さんに多大な迷惑をかけることとなります。議会だより編集委員会では、質問や答弁の内容を再チェックして校正の完了です。議会の傍聴にいられた方はニュアンスに多少の違いがあると感じられるかもしれません。1時間の内容

を700字程度にまとめますのでやむをえないところです。議会は、また議員は今何を問題視しているのか、この議会だよりを通じて、市民の皆さんにご理解とご鞭撻を頂ければ幸いです。

(Y・Y)

